

【報告基準日】

- 平成26年3月1日

世界遺産一覧表記載資産 保全状況報告書

1. 資産名称

ふじさん ー 信仰の対象と芸術の源泉

2. 所在地(県及び市町村名)

やまなしけん ふじよしだし みのぶちよう おしのむら やまなかこむら なるさわむら ふじかわぐちこまち  
山梨県 富士吉田市、身延町、忍野村、山中湖村、鳴沢村、富士河口湖町

しずおかけん しずおかし ふじのみやし ふじし ごてんぼし すそのし おやまちよう  
静岡県 静岡市、富士宮市、富士市、御殿場市、裾野市、小山町

3. 記載年

2013年

4. 評価基準

(iii)、(vi)

5. 資産の適用種別(記念工作物、遺跡、建造物群の別、文化的景観の適用の有無)

遺跡

文化的景観の適用 無

6. 資産に影響を与える要因

○来訪者の影響

富士山五合目以上の収容力を研究し、その成果に基づき来訪者管理戦略を策定する。

収容力は、山小屋の収容人数、登山道の浸食、トイレの処理能力、登山者の渋滞状況等の観点から検討を行う。

○登山道等

富士山五合目以上の登山道及びそれらに関する山小屋、ブルドーザー道のための総合的な保全手法を定める。

自然・景観に配慮した山小屋の修景、登山道、防護壁、「籠」等の保全、ブルドーザーの運行状況を踏まえた環境保全手法の検討を行う。

○情報提供

来訪者の認識・理解の促進を図るため、顕著な普遍的価値の伝達、保全

の取組みに関する情報提供を行うとともに、情報提供のための体制整備及び人材育成を行う。

また、情報提供にあたっては、調査研究の成果を取り入れることとする。

○噴火等の災害

噴火に備えた広域避難計画の作成や訓練の実施を行う。

また、構成資産において実施されている防災設備の点検、火災予防訓練等の災害対策を引き続き推進する。

○富士五湖

湖畔の建築物、モーターボート等の建築物の修景、湖の使い方については、「明日の富士五湖創造会議」等の地元関係者を交えた会議において検討を進めるとともに、関係条例の改正を行う予定。

○忍野八海

全体のつながりを阻害する低層建築については、「忍野八海整備活用計画」に基づき修景等を実施する。

○白糸ノ滝

「名勝及び天然記念物白糸ノ滝整備基本計画」に基づき整備工事を実施してきた。今後も、展望場を始めとした資産周辺の整備工事を実施していく。

○富士宮口五合目

施設背面について、景観と調和した方法での修景を実施していく。

○吉田口（富士スバルライン）五合目

五合目諸施設のデザインの改善に関して、関係者による協議を進める。

○標識・案内板

看板撤去などの取組みへの助成を行うほか、公共標識類の統一を推進する。

○電線類

電線類の地中化を推進する。

○登山道へ向かう自家用車・バスからの排気ガス

富士スバルライン、富士山スカイライン、ふじあざみラインのマイカー規制期間の見直しを実施した。平成26年夏期は平成25年夏期に比べて3車線ともマイカー規制期間を延長する。

○山麓部の開発

景観計画の策定等を進めるほか、山梨県においては、大規模太陽光発電設備の設置に対応するため関係条例の改正を行う予定。

○経過観察指標

景観の神聖さ及び美しさの各側面を反映するために、景観の定点観測地点の拡大、富士山信仰に関わる神事の実施状況、顕著な普遍的価値及び構成資産相互のつながりに関する来訪者の理解状況を経過観察の強化のための指標として追加する。

## 7. 保存管理体制の状況

別紙体制図のとおり。

## 8. 保護措置

平成25年4月1日 裾野市景観計画策定  
平成25年12月10日 御殿場市景観計画策定  
平成25年9月1日 身延町景観計画策定

## 9. 予算措置

富士山世界文化遺産協議会（平成23年度設置）に必要な予算を計上する予定であるが、平成23年度から平成25年度の予算計上はなし。

## 10. 来訪者の状況

富士山への来訪者数の推移（7・8月における各登山口八合目登山者数）  
単位：人

年	現在の富士宮口 登山道	現在の御殿場口 登山道	須走口登山道	吉田口登山道	合計
平成20年	64,034	16,624	52,323	172,369	305,350
平成21年	67,590	11,390	43,861	169,217	292,058
平成22年	78,614	9,845	48,196	184,320	320,975
平成23年	72,441	15,758	40,179	165,038	293,416
平成24年	77,755	15,462	35,577	189,771	318,565

※環境省八合目に設置された赤外線カウンターによる。ただし、平成22年には御殿場口登山道において14日間の欠落期間がある。

富士山への来訪者数の推移（7・8月における各登山口五合目来訪者数）

単位：人

年	現在の富士宮口 登山道	現在の御殿場口 登山道	須走口登山道	吉田口登山道	合計
平成20年	420,206	21,002	118,111	925,949	1,485,268
平成21年	189,894	22,244	118,651	904,475	1,235,264
平成22年	212,868	25,968	121,607	901,212	1,261,655
平成23年	177,401	25,134	97,192	638,018	937,745
平成24年	183,789	30,467	75,174	1,023,575	1,313,005

※山梨県観光企画・ブランド推進課、富士宮市観光協会、御殿場市商工観光課、小山町商工観光課の統計による。なお、「吉田口登山道」の平成22年の数値の算出方法は、調査手法の改定に伴い、平成21年以前の数値の算出方法とは異なる。

主な構成資産の来訪者数の推移（年間）

単位：人

年	西湖・精進湖・ 本栖湖周辺	富士山本宮 浅間大社周辺	山中湖・ 忍野八海周辺	白糸ノ滝
平成20年	3,377,859	1,517,059	3,440,314	517,437
平成21年	3,453,929	1,381,385	3,663,506	484,248
平成22年	1,780,097	1,341,505	834,482	443,841
平成23年	1,759,018	1,419,590	722,293	379,068
平成24年	1,845,813	1,513,223	799,648	353,888

※山梨県観光企画・ブランド推進課、富士宮市観光協会（23年以降は富士宮市観光課）の統計による。なお、「西湖・精進湖・本栖湖周辺」、「山中湖・忍野八海周辺」の平成22年の数値の算出方法は、調査手法の改定に伴い、平成21年以前の数値の算出方法とは異なる。

11. その他

平成26年3月26日 第4回富士山世界文化遺産協議会

